



東京都議選2021

# 気候危機に関する アンケート結果

Apr 2021

### アンケート実施主体

- Fridays For Future Tokyo
- ゼロエミッションを実現する会
- ・国際環境NGO グリーンピース・ジャパン
- ・国際環境NGO 350.org Japan
- ・GreenTEA チーム環境活動家

### 本アンケートについて

#### 報道各位

近年、酷暑や集中豪雨など気候変動の影響は身近な生活に及んでおり、世界全体が危機的状況になっています。これに対し、国内外の自治体や企業が、地域や自社で地球温暖化対策に取り組む動きも活発化しています。

2015年に合意されたパリ協定では、「気温上昇を2°Cより十分下方に抑える(2°C目標)とともに1.5°Cに抑える努力を継続すること」とする目標が国際的に広く共有されました。IPCC(国連の気候変動に関する政府間パネル)は、そのためには、2050年までにCO2の実質排出量をゼロにすることが必要としています。

こうした目標の達成に向け、菅総理は昨年10月26日の所信表明演説において「2050年までに、 温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすること」を宣言しました。

また、現在全国の350以上の自治体が「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」を表明しています。

気候危機に取り組む5団体(注)が、7月4日投開票の東京都議会議員選挙において候補者全員に「気候危機」についてのお考えお伺いしました。その結果、3月31日までに131人から回答をいただいています。

有権者のみなさんに、投票の判断材料としていただくため、アンケート結果と回答の<u>まとめサイ</u> <u>ト</u>を公開いたします。

「地球温暖化」問題は市民が心配している環境問題です。ぜひ報道していただけますようにお願いいたします。

#### (注) アンケート実施主体

- Fridays For Future Tokyo
- ゼロエミッションを実現する会
- ・国際環境NGO グリーンピース・ジャパン
- ・<u>国際環境NGO 350.org Japan</u>
- ・GreenTEA チーム環境活動家

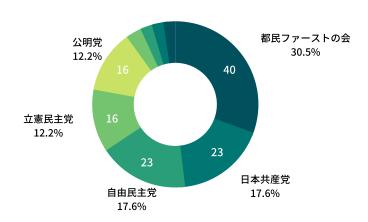
### アンケート回答者の属性

### アンケート回答者数

3月31日時点での都議選候補者207名にアンケートの 回答を依頼しました。そのうち約60%の候補者がア ンケートに返答くださいました。



### 政党別 回答者数



### 選挙区別 回答者数

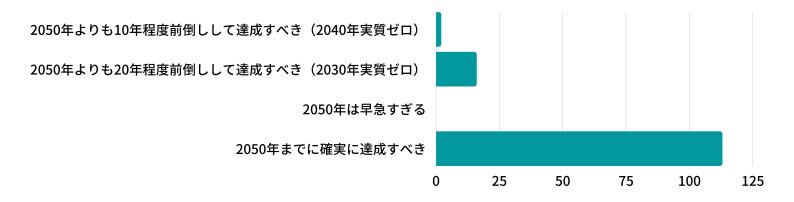




## アンケート結果 Q1, Q2

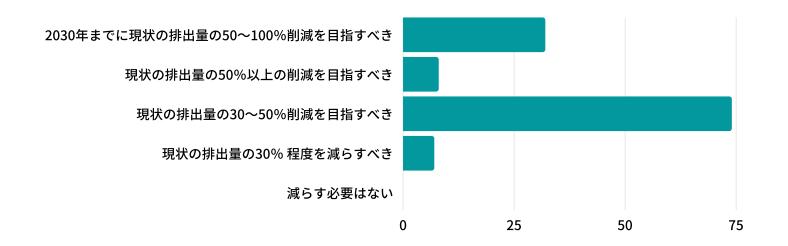
## 東京都が宣言した2050年までのCO2の実質排出ゼロ目標について、どのようにお考えですか?

ほとんどの候補者が「2050年までに確実に達成すべき」と回答しています。



### **Q2** 2030年までの温室効果ガス削減目標はどうあるべきだ と思いますか?

「現状の排出量の30~50%削減を目指すべき」と回答する候補者が多いです。



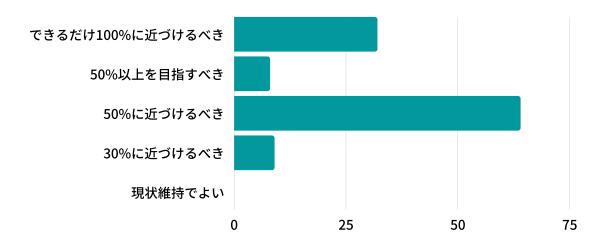


### アンケート結果 Q3, Q4

## **Q3** 2030年までの再生可能エネルギー目標はどうあるべき だと思いますか?

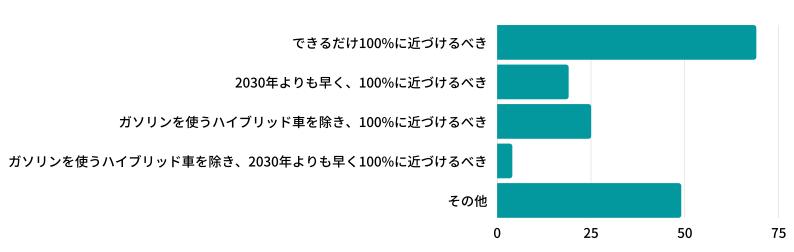
「50%に近づけるべき」との回答が最も多いです。

2021年1月に小池都知事が発表した、東京都の再工ネ目標「50%」への引き上げを受けての回答かと思われます。一方で「できるだけ100%に近づけるべき」と回答した候補者も一定数おり、気候変動問題への危機感の高さが伺えます。



## **Q4** 2030年までの乗用車新車販売台数に占めるZEVについてはどうあるべきだと思いますか?(複数回答可)

「出来るだけ100%に近づけるべき」と回答した候補者が多数を占めています。 その他には、「都の定義によるZEV(FCV、EV、PHV)を100%に近づけるべき」との意見が多く寄せられております。



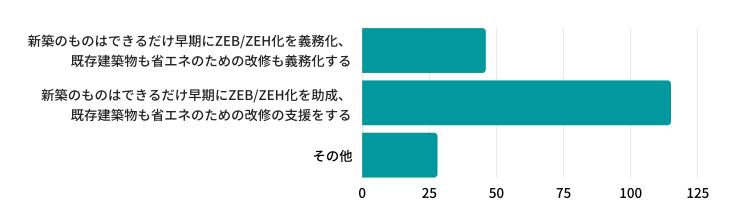


### アンケート結果 Q5, Q6

# ②5 公共建築物や民間の建物、住宅政策についてはどうあるべきだと思いますか?(複数回答可)

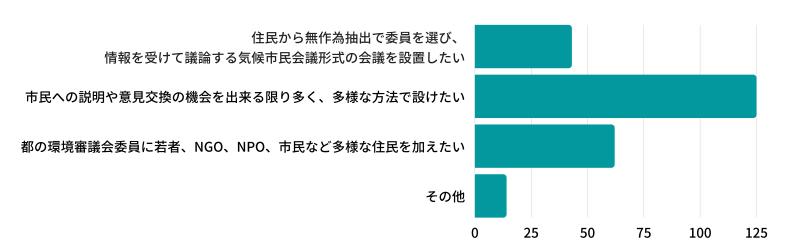
候補者の約9割が「新築のものはできるだけ早期にZEB/ZEH化を助成、既存建築物も省エネのための改修の支援をする」と回答しています。

その他には、「公共施設、一定規模以上の建築物には義務づけ、中小規模の住宅・事業所には助成・支援を行う」との回答も5件ほど見られました。



### **のる** 市民参画について(複数回答可)

候補者の約95%が「市民への説明や意見交換の期間を出来る限り多く、多様な方法で設けたい」と、約50%が「都の環境審議会委員に若者、NGO、NPO、市民など多様な住民を加えたい」と回答しています。

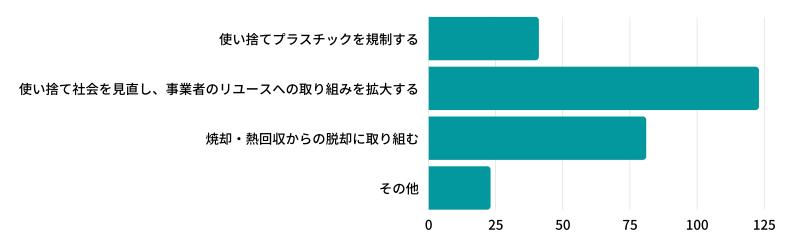




### アンケート結果 Q7

## **②7** あなたが都議となったら、プラスチック問題にどう取り組みますか?(複数回答可)

候補者の約95%が「使い捨て社会を見直し、事業者のリユースへの取り組みを拡大する」、約6割が「焼却・熱回収からの脱却に取り組み」と回答しています。一方で「使い捨てプラスチックを規制する」と回答した候補者数は、3割程度にとどまっています。



### **Q8**以降の閲覧はこちらから

- 「東京都議会選2021 気候危機に関するアンケート結果」の最新情報は下記 URLにまとめております。是非シェアしてください。
  - https://zeroemi.org/elections-in-tokyo-2021/
- Q8以降の自由回答は下記のリンクから閲覧出来ます。また、候補者一人一人の詳細な回答結果もご覧いただけます。
  - https://datastudio.google.com/s/kfDY2G-l5ng

### 補足資料:アンケート質問事項1

#### アンケートの1問目から5問目までの質問事項と選択肢は以下の通りです。

- 1. 東京都が宣言した2050年までのCO2の実質排出ゼロ目標について、どのようにお考えですか?
- 2050年よりも10年程度前倒しして達成すべき(2040年実質ゼロ)
- 2050年よりも20年程度前倒しして達成すべき(2030年実質ゼロ)
- 2050年までに確実に達成すべき
- 2050年は早急すぎる
- 2.2030年までの温室効果ガス削減目標はどうあるべきだと思いますか?
- 2030年までに現状の排出量の50~100%削減を目指すべき
- 現状の排出量の30~50%削減を目指すべき
- 現状の排出量の30%程度を減らすべき
- 減らす必要はない
- その他:
- 3.2030年までの再生可能エネルギー目標はどうあるべきだと思いますか? \*
- できるだけ100%に近づけるべき
- 50%に近づけるべき
- 30%に近づけるべき
- 現状維持でよい
- その他:
- 4.2030年までの乗用車新車販売台数に占めるZEV(電気自動車、燃料電池自動車、ハイブリッド自動車) についてはどうあるべきだと思いますか?(複数回答可)
- できるだけ100%に近づけるべき
- 2030年よりも早く、100%に近づけるべき
- ZEVの定義からガソリンを使うハイブリッド車を除き、100%に近づけるべき
- ZEVの定義からガソリンを使うハイブリッド車を除き、2030年よりも早く100%に近づけるべき
- その他:
- 5. 公共建築物や民間の建物、住宅政策についてはどうあるべきだと思いますか?(複数回答可)
- 新築のものはできるだけ早期にZEB/ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル/ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)を義務化、既存のものも省エネのための改修も義務化する
- 新築のものはできるだけ早期にZEB/ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル/ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)化を助成、既存建築物も省エネのための改修の支援をする
- その他:

### 補足資料:アンケート質問事項2

アンケートの6問目から12問目までの質問事項と選択肢は以下の通りです。

- 6. 市民参画について(複数回答可)
- 住民から無作為抽出で委員を選び、情報を受けて議論する気候市民会議形式の会議を設置したい
- 市民への説明や意見交換の機会をできるかぎり多く、多様な方法で設けたい
- 都の環境審議会委員に若者、NGO、NPO、市民など多様な住民を加えたい
- その他:
- 7. あなたが都議となったら、プラスチック問題にどう取り組みますか? (複数回答可)
- 使い捨てプラスチックを規制する
- 使い捨て社会を見直し、事業者のリユースへの取り組みを拡大する
- 焼却・熱回収からの脱却に取り組む
- その他:
- 8. グレタ・トゥーンベリさんの発言や行動(未来のための世界気候ストライキ、気候危機を乗り越えるために今システムチェンジを、など)について、どのような印象を持っていますか?(200字以内・自由回答)
- 9. あなたが都議となったら、東京都の地球温暖化対策を進めるために何をしますか?(200字以内・自由回答)
- 10. 環境と経済の両立についてのお考えをお聞かせください(200字以内・自由回答)
- 11. 気候変動に関するドキュメンタリー、映画、本、論文で印象に残っているものを教えてください。(200字以内・自由回答)
- 12. 個人として気候変動対策として既にやっていることを教えてください。(200字以内・自由回答)

### お問い合わせ先

アンケート結果や取材等に関するお問い合わせはこちらからお願いいたします。

#### 【お問い合わせ】

- ゼロエミッションを実現する会(https://zeroemi.org)
  - ∘ メール: zeroemi2050@gmail.com
  - 。 お問い合わせフォーム:<u>https://zeroemi.org/contact</u>
  - o 雷話

鈴木:080-3017-0046江澤:080-5699-9476相原:090-4971-5030

